

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日本からの海外送金、25年度1兆円超え 外国人の就労拡大映す

・日本から海外への送金が増えている。2025年度の送金額は24年度比11.5%増の1兆39億円と、過去最大。日本で働く外国人の増加を反映。財務省の国際収支統計によると、15年度に比べて2.16倍に膨らむ。新型コロナウイルス禍では一時的に減少したが、拡大傾向が続いている。送金先を国別でみるとベトナムが2887億円で最多だった。

◆SNS偽情報の対策、27年春の統一地方選から義務づけ 改正2法が成立

・選挙運動のSNS規制に関する改正法が参院本会議で可決、成立。偽情報の投稿を選挙の公正を損なう「違法行為」とみなす。偽情報の拡散を食い止めるためSNS事業者に対策を義務づけ。2027年3月に施行し、同年春の統一地方選から適用。公職選挙法と情報流通プラットフォーム対処法(情プラ法)を改正する。具体的な措置はSNS事業者に委ねる。

◆6月末の投信残高、スリム「オルカン」「S&P500」が過去最高を更新

・6月末の国内公募の追加型株式投資信託の純資産総額(残高)は、上位20ファンドの顔ぶれは5月末と変わらず、前月に引き続き残高はすべて1兆円を超えた。首位は「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)〈愛称:オルカン〉」で12兆7439億円。2位は「eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)」の12兆2755億円、月末ベースでそれぞれ過去最高更新。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京製鉄、8月の契約価格据え置き 値上げの影響見極め

・東京製鉄は8月契約分の鋼材価格を全品種で据え置くと発表。据え置きは2カ月ぶり。7月分で1トン2000～3000円値上げするなど4カ月で3回の値上げをしており、市場への影響を見極めるとしている。販売価格はビルの柱や梁(はり)に使うH形鋼が1トン11万6000円、鋼板の母材となるホットコイルが10万円など。高炉、電炉各社が転嫁値上げを推進。

◆三菱UFJ、時価総額首位 バブル後の苦闘経て40年ぶり「金融復権」

・三菱UFJフィナンシャル・グループ(FG)が日本企業の時価総額で初めて首位に立った。金融機関がトップになるのは1986年の住友銀行以来。バブル崩壊後に歴史的な低金利にあえいだ日本の金融は40年ぶりの転機を迎えている。「人工知能(AI)や半導体は株価が高くて下落が怖い、三菱UFJには金利上昇で株主還元を期待」との声。

◆依然として「価格転嫁できない」が4割超える—全建総連

・全国建設労働組合総連合(全建総連)はこのほど、6回目となる工務店アンケートの結果を公表。物価上昇により工事原価が上昇した工務店の割合は74.6%で、前回(89.6%)からは低下したものの、全体の44.0%が値上がり分を自社で負担。価格転嫁は十分に進んでいない状況が明らかになった。新築よりもリフォームが多い傾向がみられる。

《 注目商品 》

■DAIKEN、不燃性能とビス保持力を備えた壁下地材

・不燃性能とビス保持力を備えた壁下地材「不燃ダイライト複合板BK(壁下保くん)」を発売。非住宅分野では、内装制限や防火の観点から壁下地材にも不燃性能が求められるケースが増えている一方で、ビス保持力や施工性を備え、かつ安定的に調達できる下地材が求められている。



■永大産業、4つの洗濯家事を効率化するランドリー収納

・ランドリールーム専用の収納製品「フィルフィットランドリー」を発売。洗う、乾かす(干す)、たたむ(整える)、しまうの4つの動作を1カ所に集約して洗濯家事を効率化。衣類乾燥機をカウンター下に収納して見た目をすっきりとさせつつ作業スペースも確保。



■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」〈FU-U40〉

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機の新シリーズ「Purefit(ピュアフィット)」〈FU-U40〉を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用。

